

卒業生アンケート結果の検討（社会福祉専攻）

（回答者：60名）

1. 社会福祉学科社会福祉専攻の教育の成果と課題

「現在資格や専門性を生かして勤務されていますか」については、73.3%が資格や専門性を生かしていると回答しており、DP2について成果をあげていると考えられる。

「学会や研究会等自主的な勉強会に参加していますか」については、81.7%が参加していないと回答している。ふだんの業務が忙しいこともその理由となっていると思われるが、DP5について一定の課題があると考えられる。卒業生に対してリカレント教育の機会をさらに提供することが必要である。

本学で受けた教育をふりかえてみて、身についたと回答した割合（「十分身についた」と「身についた」の合計）は、「社会福祉に関する専門知識（座学）」で93.3%、「社会福祉に関する専門知識（援助技術）」で80.0%、「個別支援計画の作成能力」で58.4%、「クライアントとのコミュニケーション能力」で76.6%、「同職種・他職種とのコミュニケーション能力」で80.0%、「論理的思考力」で81.7%、「創造的思考力」で85.0%、「社会福祉士としての倫理観や使命感」が83.3%、「自己管理能力」で88.3%、「自己学習（生涯学習）の姿勢と意欲」で85.0%、「一般教育」で78.4%などであった。おおむね、卒業生には本学で受けた教育は身につけていると評価されており、DPに関しては、特にDP1、DP3 DP4、DP5が成果をあげていると言えるだろう。

また、本学で受けた教育が現在の仕事や生活にどの程度役立っているかについては、役立っていると回答した割合（「大変役立っている」と「役立っている」の合計）は、「社会福祉に関する専門知識（座学）」76.7%、「社会福祉に関する専門知識（援助技術）」で68.4%、「個別支援計画の作成能力」で50.0%、「クライアントとのコミュニケーション能力」で68.3%、「同職種・他職種とのコミュニケーション能力」で65.0%、「論理的思考力」で61.7%、「創造的思考力」で63.3%、「社会福祉士としての倫理観や使命感」が68.4%、「自己管理能力」で68.3%、「自己学習（生涯学習）の姿勢と意欲」で68.4%、「一般教育」で58.3%などであった。「役立っていることもある」も含めれば、本学で受けた教育は卒業生にとって役立っており、DPに関しては、特にDP1、DP3 DP4、DP5が成果をあげていると言えるだろう。

ただし、「個別支援計画の作成能力」については、「身につけている」や「役立っている」が相対的に低い評価となっている。今後の実習プログラムにおいて盛り込むことを必須にしていくことなどが改善点として挙げられる。また、自由記述ではコミュニケーション能力に言及するコメントが散見された。この部分に関する教育をさらに充実させることを検討したい。

「地域社会において、福祉の担い手になっているか」の自己評価は、そう思うと回答した割合（「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計）は56.7%、「実習生の指導、職能団体における活動、地域での啓発活動等において、卒業後も熱心に取り組み、十分な実績を上げているか」の自己評価は、そう思うと回答した割合（「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計）は46.7%であった。半数程度の卒業生は、地域社会における福祉の担い手となり、十分な実績を上げていると評価している。

2. 今後の教育の質の向上のために改善できる点

DP2について、成果をあげているが、地域社会を意識した教育内容をさらに盛り込む必要がある。